総括質問

本市議会では議案への質疑と、市政などを問う一般質問を合わせて行い、それを「総括質問」としています。
今定例会では、13人の議員が総括質問を行いました。
質問者の文責により質問と答弁の要旨を紹介します。
★詳しい質問内容は、会議録をご覧ください。

清風クラブ

平塚市民病院の経営改善について



数田　俊樹　議員

問　平塚市民病院は、令和４年度末に約57億円あった現金預金が、７年度末には約18億７千万円まで減少した。経営収支状況について伺う。

病院事業管理者　７年度は診療単価が増加し、過去最高の医業収益となったが、人件費や物価高騰により、約６億６千万円の純損失となった。

問　安定した病院経営を継続するために、最低限確保すべき現金預金残高を伺う。

病院事業管理者　最低限必要な現金預金残高は、18億円程度と考えている。

問　平塚市民病院経営強化プランで設定されているＫＰＩ（重要業績評価指標）については、一定の効果や成果が出ているが、経営改善にはつながっていない。ＫＰＩと経営収支をどのように分析しているか伺う。

市民病院事務局長　想定を上回る人件費や物価高騰により、費用面が計画時よりも上昇し、ＫＰＩを上回っても営業収支が悪化している。ＫＰＩの見直しは実施しないが、単年度予算に反映させ、収支改善に努めていきたい。

問　経営強化プランの最重点指標である新入院患者数は、７年度の目標を３３０人下回り、前年度からも１６０人減少した。このことについて、原因を分析したのか伺う。

市民病院事務局長　短期間の入院は、日帰り手術に移行しており、これまで入院を要した白内障の手術などは、７年度から外来に移行している。このほか、医師の増減や救急搬送件数の減少が生じており、多角的に分析している。

問　病床利用率の向上について伺う。

市民病院事務局長　現在の利用率は低いと認識している。黒字経営にするためには、病床の高回転と高稼働、診療実績による高単価が求められており、患者の退院後、すぐに新しい入院患者を受け入れられるよう強化したい。

問　８年度、９年度の病床利用率の目標値設定について伺う。

市民病院事務局長　現在の経営強化プランは９年度までの設定になっており、病床利用率の設定はないが、新年度予算では設定をし、次期計画の策定でも検討していく考えである。

問　労働生産性向上をＫＰＩに導入すべきと考えるが、見解を伺う。

市民病院事務局長　今後はＤＸの導入も含め、次期計画に取り入れ、職員の生活の質も向上するよう、進めていきたい。

問　９年度の目標である経常収支比率１００％の達成に向け、新入院患者数、病床利用率、診療単価、費用抑制を数値化した経営改善ロードマップを作成すべきと考えるが、見解を伺う。

病院事業管理者　給与や材料費などの支出の上昇は、診療報酬で賄える範囲を超えている。適切な医療を提供し、経営改善を図っていきたい。

問　赤字を補填し続けることが、市民病院を守ることではない。必要な医療を維持し、提供できる経営体質を構築することについて、見解を伺う。

企画政策部長　市民病院は市民の生命を守る重要な役割を担っている。今後も連携を密にし、必要に応じて支援していく。

▼そのほかの質問　健全な財政運営　防災減災対策の強化　平塚駅周辺地区のまちづくり　平塚市美術館大規模改修工事

暮らしと私



諸伏　清児　議員

自転車のまちづくり

問　令和８年４月に一部改正された道路交通法により、自転車の交通違反に交通反則通告制度（青切符制度）が導入された。本市の自転車に対する一方通行規制解除の状況を伺う。

まちづくり政策部長　神奈川県警察では、特別な理由がある場合を除き原則として、規制対象の車両から自転車を除く方針が公表されている。本市の状況を平塚警察署に確認したところ、「平塚駅周辺から順次、規制対象からの除外を進めていく。」とのことであった。

問　自転車の利用ルールやマナーの啓発に取り組み、交通安全意識の向上に努めることは必要と考えるが、本市の取り組みと現状の課題について伺う。

まちづくり政策部長　本市の自転車による交通事故件数は着実に減少しているが、15歳から19歳の年齢層のほか、65歳以上の高齢者による交通事故が多いことが課題である。今後も、ルールの遵守やマナー向上のため、さまざまな機会を生かし、継続して啓発活動に努めていく。

ごみの取り組み

問　可燃ごみ戸別収集の効果と課題を伺う。

環境部長　本市は社会実験を経て、令和３年度から一部の地区において戸別収集を実施し、９年度までに市内全域に拡大する計画である。戸別収集への移行直後は、収集時間が安定するまでに一定期間を要することなどの課題があるが、本市の可燃ごみの収集量は、戸別収集を開始する前と比べて減少しており、効果が出ているものと考えている。

問　不分別ごみが集積所に残された際の対応を伺う。

環境部長　分別されていないごみは、原則として収集はせず、収集できない理由を記載した啓発シールを貼り、排出者に適正な分別を促している。その後も一定期間残されている場合には、収集業務課が状況を確認し、排出物の調査を行っている。今後も、啓発や調査、排出者への指導を組み合わせ、適正排出の促進に努めていく。



不分別ごみ

問　本市の自治会への加入率は62・2％と低下しているが、ごみステーションは全市民が利用している。現状、ごみステーションの管理や清掃は、自治会の役員が担っており、来年度には市全域で戸別収集が実施されるが、資源や不燃ごみの集積所の管理は次の課題と考える。有償ボランティアなどの活用も含め、市は政策的な課題として取り組んでいくべきだが、見解を伺う。

環境部長　ごみステーションの維持管理は、自治会・町内会役員の尽力により支えられている。有償ボランティアの活用についても、最終的には地域が役割を担うことには変わらず、担い手の確保が大きな課題と考えている。市としても知り得た情報は地域に伝え、住民の声を聞きながら、知恵を絞っていきたい。

▼このほかの質問　令和９年度農林施策など　消防救急の取り組み　マンホールの活用　自治会の取り組みについて

●委員会の活動● 行政視察の報告

議会では他自治体の先進事例を研究するため、行政視察を実施しています。６月定例会及び９月定例会で承認を得た次の委員会が、閉会中に行政視察を行いました。

議会運営常任委員会（10月21日～10月22日）
- ●兵庫県芦屋市…議会改革の取組について
- ●大阪府堺市…議会改革の取組について

総務経済常任委員会（８月６日～８月７日）
- ●三重県四日市市…ふるさと応援寄附金について
- ●広島県福山市…ばらのまち福山について

環境厚生常任委員会（７月22日～７月23日）
- ●新潟県見附市…スマートウエルネスみつけについて
- ●長野県佐久市…地域医療体制について

教育民生常任委員会（８月５日～８月６日）
- ●福島県二本松市…二本松市小中一貫教育
- ●宮城県白石市…英語特区の推進と英語教育の充実について

都市建設常任委員会（７月30日～７月31日）
- ●三重県志摩市…最先端救助支援システム「３ｒｄ－ＥＹＥ」の取組について
- ●三重県桑名市…ＭａａＳ推進の取組について

※詳しい視察内容を記載した報告書は、市庁舎８階の議会図書室や５階の市政情報コーナーでご覧いただけます。

市議会ホームページ

市議会に関する情報は、市議会ホームページからご覧になれます。